

八戸市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針（改定版）の概要

望ましい学校規模

小学校：12～18 学級（各学年 2 ～ 3 学級） 中学校：6 ～18 学級（各学年 2 ～ 6 学級）

【参考】学校規模の分類

区分		小学校の学級数	中学校の学級数
過小規模校		1 ～ 5 学級	1 ～ 2 学級
小規模校		6 ～11 学級	3 ～ 5 学級
適正規模校	望ましい学校規模	12～18 学級	6 ～18 学級
	上記以外	19～24 学級	19～24 学級
大規模校		25～30 学級	25～30 学級
過大規模校		31 学級以上	31 学級以上

学校規模の適正化に関する検討開始の目安と手法

「望ましい学校規模」を踏まえ、「学校規模の適正化が必要な範囲」を次のとおりとし、望ましい学校規模から乖離している程度が大きい過小規模校から優先的に学校規模の適正化の検討を開始することとします。

学校規模の適正化の手法については、文部科学省の手引に基づき、学校統合の適否を検討することを基本とします。

■小学校

- ・ 令和 5 (2023) 年度現在、12 学級未満である小学校

■中学校

- ・ 令和 5 (2023) 年度現在、6 学級未満である中学校

検討開始の優先度についての基本的な考え方は、原則として次のとおりとします。令和 5 (2023) 年度現在の学校規模を踏まえつつ、令和 11 (2029) 年度における学校規模の推計値を参酌して総合的に判断します。

検討開始 の優先度	学級数 (小学校)	学級数 (中学校)	内容
★★★★★	1～3	1	全学年で複式学級となっている過小規模校
★★★★	4～5	2	一部の学年で複式学級となっている過小規模校
★★★	6	3	全学年で一学級編制となっているため、クラス替えができない小規模校
★★	7～8	4～5	全学年ではクラス替えができない小規模校
★	9～11	－	その他の小規模校

八戸市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する検討課題(改定版)
検討開始の優先度分類一覧表

■ 小学校(41校)

検討開始 の優先度 (学級数)	学校名	令和5年度(5/1時点)				令和11年度(推計)				増減	
		児童数	学級数			児童数	学級数			児童数 (%)	学級数 (学級)
			複式	通常	複式+通常		複式	通常	複式+通常		
★★★★★ (1～3学級)	金浜	12	2	1	3	1		1	1	8.3	△ 2
	種差	19	3		3	17	3		3	89.5	0
	大久喜	27	3		3	19	3		3	70.4	0
★★★★ (4～5学級)	轟木	29	3		3	35	2	2	4	120.7	1
	島守	36	2	2	4	24	3		3	66.7	△ 1
	豊崎	46	2	2	4	32	3		3	69.6	△ 1
	南郷	106		6	6	41	2	2	4	38.7	△ 2
★★★ (6学級)	明治	102		6	6	65		6	6	63.7	0
	多賀	105		6	6	81		6	6	77.1	0
	図南	109		6	6	95		6	6	87.2	0
	江南	111		6	6	85		6	6	76.6	0
	是川	139		6	6	76		6	6	54.7	0
	白銀	154		6	6	149		6	6	96.8	0
	高館	158		6	6	160		6	6	101.3	0
	多賀台	161		6	6	105		6	6	65.2	0
	湊	184		6	6	122		6	6	66.3	0
	町畑	193		6	6	171		6	6	88.6	0
★★ (7～8学級)	田面木	184		7	7	150		6	6	81.5	△ 1
	江陽	196		7	7	180		6	6	91.8	△ 1
	桔梗野	256		11	11	174		6	6	68.0	△ 5
	鮫	258		11	11	187		7	7	72.5	△ 4
★ (9～11学級)	西園	238		9	9	232		10	10	97.5	1
	白鷗	246		9	9	213		8	8	86.6	△ 1
	八戸	272		11	11	252		11	11	92.6	0
	城下	291		11	11	240		10	10	82.5	△ 1
	中居林	331		11	11	318		13	13	96.1	2
	西白山台	523		18	18	267		10	10	51.1	△ 8
優先度を 設けない (12学級 以上)	小中野	299		12	12	248		11	11	82.9	△ 1
	下長	338		12	12	278		12	12	82.2	0
	旭ヶ丘	346		12	12	248		10	10	71.7	△ 2
	城北	352		12	12	268		11	11	76.1	△ 1
	根岸	353		12	12	340		12	12	96.3	0
	白山台	380		14	14	386		14	14	101.6	0
	長者	386		14	14	283		12	12	73.3	△ 2
	三条	396		14	14	318		12	12	80.3	△ 2
	白銀南	415		14	14	335		13	13	80.7	△ 1
	根城	434		15	15	304		12	12	70.0	△ 3
	吹上	524		20	20	426		16	16	81.3	△ 4
	青潮	554		18	18	435		16	16	78.5	△ 2
	柏崎	556		18	18	431		17	17	77.5	△ 1
	新井田	599		21	21	488		17	17	81.5	△ 4
	合計	10,418		384	399	8,279	16	337	353	79.5	△ 46

(補足) ・轟木小学校は、現在の3学級から1学級増加が見込まれるため、優先度を1段階ダウン。

・南郷小学校は、現在の6学級から2学級減少が見込まれるため、優先度を1段階アップ。

・桔梗野小学校、鮫小学校及び西白山台小学校は、児童数及び学級数の急速な減少が見込まれるため、優先度を1段階アップ。

八戸市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する検討課題(改定版)

検討開始の優先度分類一覧表

■ 中学校(24校)

検討開始 の優先度 (学級数)	学校名	令和5年度 (5/1時点)				令和11年度 (推計)				増減	
		生徒数	学級数			生徒数	学級数			生徒数 (%)	学級数 (学級)
			複式	通常	複式＋通常		複式	通常	複式＋通常		
★★★★★ (1学級)	該当なし										
★★★★ (2学級)	該当なし										
★★★ (3学級)	島守	16		3	3	16		3	3	100.0	0
	南浜	22		3	3	23		3	3	104.5	0
	豊崎	26		3	3	20		3	3	76.9	0
	中沢	57		3	3	45		3	3	78.9	0
	是川	61		3	3	57		3	3	93.4	0
	明治	75		3	3	47		3	3	62.7	0
	江陽	102		3	3	92		3	3	90.2	0
★★ (4～5学級)	鮫	136		5	5	127		4	4	93.4	△ 1
	小中野	147		5	5	148		5	5	100.7	0
優先度を 設けない (6学級以上)	北稜	216		8	8	174		6	6	80.6	△ 2
	白銀	218		7	7	167		6	6	76.6	△ 1
	白銀南	236		8	8	209		8	8	88.6	0
	湊	261		9	9	234		9	9	89.7	0
	長者	270		9	9	239		9	9	88.5	0
	市川	279		9	9	256		9	9	91.8	0
	第二	280		9	9	291		9	9	103.9	0
	三条	281		9	9	339		11	11	120.6	2
	第三	289		10	10	286		9	9	99.0	△ 1
	大館	308		10	10	360		12	12	116.9	2
	東	355		11	11	330		11	11	93.0	0
	根城	375		12	12	331		11	11	88.3	△ 1
	第一	417		13	13	457		15	15	109.6	2
	下長	471		14	14	429		13	13	91.1	△ 1
	白山台	478		15	15	432		15	15	90.4	0
	合計	5,376		184	184	5,109	0	183	183	95.0	△ 1